

衆議院沖縄及び北方問題に関する特別委員会ニュース

平成 28. 4. 26 第 190 回国会第 3 号

4 月 26 日（火）、第 3 回の委員会が開かれました。

1 平成28年熊本地震により亡くなられた方々に対し、黙禱をささげました。

2 木原外務副大臣及び黄川田外務大臣政務官からそれぞれ就任の挨拶が行われました。

3 沖縄及び北方問題に関する件

- ・島尻国務大臣（沖縄及び北方対策担当）、岸田外務大臣、福岡内閣府副大臣、黄川田外務大臣政務官、堂故文部科学大臣政務官、佐藤農林水産大臣政務官、熊田防衛大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

比 嘉 奈津美君（自民）

- ・那覇港の混雑解消や沖縄本島中北部の産業活性化・観光開発のため、中城湾港を整備する必要があると考えるが、島尻国務大臣の所見を伺いたい。
- ・沖縄本島北部の本部半島の港における冷凍冷蔵施設の整備は、農産物の保管や安定供給に寄与すると考えるが、同施設の整備を更に充実させる必要性について伺いたい。
- ・本年度予算では「沖縄子供の貧困緊急対策事業」として 10 億円が措置されているが、同対策の具体的な内容を島尻国務大臣に伺いたい。

吉 田 宣 弘君（公明）

- ・北方領土に残された不動産の所有権・賃借権を行使できないことによる損失の補償を求める要望があるが、この要望についての政府の見解を伺いたい。
- ・（独）北方領土問題対策協議会が行っている北方領土の元居住者等に対する融資制度について、融資対象者を段階的にでも全ての元居住者の子又は孫まで拡大すべきと考えるが、島尻国務大臣の見解を伺いたい。
- ・島尻国務大臣は、就任以来、沖縄の子供の貧困対策に取り組み、関係者への協力要請や意見交換を重ねているが、意見交換等の場で子供の貧困の原因やその改善方策として提起された意見について伺いたい。

小 川 淳 也君（民進）

- ・辺野古埋立承認の取消しを巡る国と沖縄県の訴訟で和解が成立したが、和解条項に沿った今後の動向についての見通しを伺いたい。
- ・今年 1 月の宜野湾市長選挙の結果は、普天間飛行場の辺野古移設を宜野湾市民が容認したものとは言えないと考

えるが、島尻国務大臣の見解を伺いたい。

- ・政府は、基地問題と沖縄振興予算はリンクしないとの立場にありながら、教科書検定において「日本政府も、事実上は基地の存続とひきかえに、ばくだいな振興資金を沖縄県に支出」等の記述を合格としたのは何故か。

水 戸 将 史君（民進）

- ・「日露の経済協力」と「北方領土問題」の両者をどのように位置付け、領土交渉を進めていくのか、岸田外務大臣の見解を伺いたい。
- ・ロシアによる北方領土の実効支配が強化されているが、これを食い止めるための日本政府の対処方針について、岸田外務大臣の見解を伺いたい。
- ・ロシア 200 海里水域内におけるさけ・ます流し網漁の禁止による影響を緩和するために実施された平成 27 年度の緊急対策事業の評価及び漁業関係者等への今後の支援について、政府の見解を伺いたい。

近 藤 昭 一君（民進）

- ・北方領土隣接地域の振興を図るため、一括交付金のような用途の自由度の高い予算を同地域に配分すべきと考えるが、政府の見解を伺いたい。
- ・生物の多様性を維持していくことは重要であり、辺野古沿岸部には、普天間飛行場の代替施設ではなく、ジュゴン海洋保護区を設けるべきと考える。生物多様性条約締約国会議において設けられた「愛知目標」（海域の 10% を海洋保護区とする）の達成に向けた重要海域の抽出作業の進捗状況について伺いたい。
- ・辺野古沿岸部の埋立てにおいて、県外から埋立用土砂を搬入することは、予想できない生態系の錯乱を引き起こすおそれがあり問題であるとするが、島尻国務大臣の

見解を伺いたい。

赤 嶺 政 賢君 (共産)

- ・ 沖縄の子供の貧困の現状は、沖縄の歴史的事情や広大な基地の存在に起因すると考えるが、島尻国務大臣の見解を伺いたい。
- ・ 子供の貧困対策支援員の確保については、3年のモデル事業の実施では正規雇用ができず、非正規雇用では長続きしないことから、支援員を正規雇用とする必要があると考えるが、そのための政府の取組を伺いたい。
- ・ 子供の貧困対策として就学援助制度の適用拡大は重要であり、同制度に係る市町村の財政負担を軽減するため、国庫による補助拡大を行う必要があると考えるが、島尻国務大臣の見解を伺いたい。